

辺野古の埋立てを許すな！5.23 横浜集会

「本土」メディアの沖縄報道を問う

～講師：金平茂紀さん（ジャーナリスト）～



写真は沖縄タイムス、琉球新報から

国際保護動物・ジュゴンの棲む豊かな辺野古の海が、巨大な米軍基地建設のために埋め立てられようとしている。機動隊と海保の暴力的規制で市民の抵抗を封じ込め、法手続きも無視して沖縄の民意を踏み潰す。「本土」メディアと世論の無関心が、そんな安倍政権の沖縄差別政策を支えている。

しかし沖縄の人々は諦めない。ゲート前座込みは、1000日を超えた。翁長知事は自治体としてのあらゆる権限を駆使して国策に対峙しようとしている。

私たちに問われているのは何か。改めて考えてみたい。多くの参加を！

【金平茂紀さんのプロフィール】・1953年北海道生まれ。ジャーナリスト、TBS「報道特集」メインキャスター。著書に『ロシアより愛をこめて モスクワ特派員滞在日誌 1991-1994』（1995年、筑摩書房）『電視的』（1997年、太田出版）『テレビニュースは終わらない』（2007年、集英社新書）『沖縄ワジワジ通信』（2013年、七つ森書館）など多数。最新刊に『抗うニュースキャスター』（かもがわ出版）。「最も深くて暗い亀裂は、本土メディアと地元メディアのあいだに横たわるものだ。それはまさに、沖縄が日本という国の中で置かれている状況の〈映し鏡〉である」（『越境広場』3号 2017年2月）と語る。「金平茂紀の新・ワジワジ通信」を沖縄タイムスに不定期連載中。



映像と報告

辺野古・高江のたたかい

5月23日（火）18時半

会場 横浜市開港記念会館2階6号

（JR関内駅南口10分、みなとみらい線日本大通り駅1番出口1分）

資料代 500円



主催：島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会

★結ぶ会代表世話人：仲宗根保（鶴見沖縄県人会元幹事長）・高梨晃嘉（元横浜市議）

連絡：090-7402-5245 檜鼻（基地撤去をめざす県央共闘）/ 090-4822-4798 深沢（沖縄講座@横浜）